

# 人類学演習Ⅲ 談話会

6月3日(金)  
16:30~18:00  
場所: 201号室

演者: 小林 豊 先生

(東京大学大学院生態人類学研究室 特任研究員)

演題: 「集団構造と学習能力の進化」

## 要旨

ヒトや動物の学習能力には大きく分けて、社会学習（模倣による学習）と個体学習（独力による学習）の二つの様式があります。社会学習は、遺伝子の伝達なしに、獲得形質を次世代に伝えることを可能にする一方で、個体学習は、遺伝子の突然変異なしに、新しい適応的形質を獲得することを可能にします。ヒトはこれらの能力を協調させることで、表現型レベルの急速な適応を可能にするもう一つの進化的基盤、すなわち文化を獲得したと言われていています。私は、昨年12月に当研究室に着任して以来、どのような局面で社会学習や個体学習が適応的に有利になるのかという理論的な問題に取り組むため、集団遺伝学的な数理モデルを構築して解析しています。今回の談話会では、特に、集団の空間的な構造によって生じる文化的・遺伝的相関がもたらす潜在的効果に注目し、最近の研究の動向と私自身の研究の成果を紹介します。

担当 田宝 玄人(石田研究室)